

# 生活単元学習（小学部）

## 【基本的考え方】

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際・総合的に学習するものである。

生活単元学習では、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

生活単元学習の指導では、児童生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切である。

また、個々の児童生徒の自立と社会参加を視野に入れ、個別の指導計画に基づき、計画・実施することが大切である。 ※特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)より

## 【小学部の指導について】

児童が興味・関心をもちながら豊かな生活を送ることができるように、学校行事、季節行事や身近な生活にかかわる事柄を題材にした単元に取り組み、単元終了後の生活にも生かすことができる力を身に付けるようにする。

低学年では、学校生活に慣れ、経験を広げながら、仲間と楽しく活動できるようにする。学年が進むに従い、目標達成に向けた活動の中で、一人一人の児童が力を発揮しながら、仲間と共に、一連の活動に見通しをもって取り組むことができるようにする。活動は児童の興味・関心や発達段階に応じたものとし、社会の一員としての自覚をもつように生活年齢に合わせた関わり方を大切にする。また、集団での活動を通して、児童同士の関わりから社会性を養い、自立的な生活をするための基礎的な能力と態度を育てることを目指す。

## 【目標】

### 1 知識・技能

実際の経験を通して児童生徒の学校生活や社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができるようにする。

### 2 思考力・判断力・表現力等

実際の活動の中で考えるようにし、身に付けた知識・技能を活用することに気付いたり、生かしたりすることができるようにする。

### 3 学びに向かう力、人間性等

身近な人との関わりや活動の中で自分の力を発揮しようとする前向きな態度を育てる。

## 【学習グループ】

### ●小学部 合同（なかよしタイム）・・・1～6年での縦割り活動

・1年生を迎える会をしよう（4月）・クリスマス会をしよう（12月）・6年生を送る会をしよう（2月）

### ●学年合同・・・行事に取り組む活動など

運動会（5月）・観武祭（10月）・校外学習（各学年）・宿泊学習・修学旅行（7月、9月）  
誕生会、NS、雪上教室（1～3年）、スケート教室（4～5年）など

### ●学年や学級の実態に応じたグループングでの活動

・活動に応じてグループの人数やメンバーを工夫する必要がある活動  
やきいも、畑活動、公共交通機関の利用、買い物、調理活動、季節の行事、制作活動、アルバム作りなど

# 生活単元学習（中学部）

## 【基本的考え方】

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

生活単元学習では、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

生活単元学習の指導では、児童生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切である。

また、個々の児童生徒の自立と社会参加を視野に入れ、個別の指導計画に基づき、計画・実施することが大切である。 ※特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)より

## 【中学部の指導について】

生徒が興味・関心をもちながら、身近な社会生活にも目を向け、豊かな生活を送ることができるように、学校行事や身近な生活に関わる単元に取り組み、学校生活や社会生活に生かすことができる力を身に付けるようにする。

単元は、目標や内容により学部全体、学年、学級など適切な集団で取り組み、目標達成に向けた活動の中で、一人一人の生徒が力を発揮しながら、仲間と共に、一連の活動に見通しをもって取り組むことができるようにする。また、集団での活動を通して、生徒同士の関わりから社会性を養い、自立的な生活をするための基礎的な能力と態度を育てることを目指す。

## 【目標】

### 1 知識・技能

実際の経験を通して児童生徒の学校生活や社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができるようにする。

### 2 思考力・判断力・表現力等

実際の活動の中で考えるようにし、身に付けた知識・技能を活用できることに気付いたり、生かしたりすることができるようにする。

### 3 学びに向かう力、人間性等

社会に貢献する喜びに気付き、自分の力を発揮しようとする前向きな態度を育てる。

## 【学習グループ】

### ●中学部 合同（1～3年での縦割り活動）

- ・学部集会（年間） ・生徒会活動（年間） ・対面式（4月） ・運動会（5月）
- ・観武祭（10月） ・激励会（1月） ・送る会（2月）

### ●学年合同 ・校外学習 ・宿泊学習 ・修学旅行 ・畑活動 ・収穫祭

### ●学年共通 学年共通のテーマで学級ごとに活動

- ・学年で共通して経験したいが、学級の実態に合わせたい、小人数が適しているという活動の場合（調理活動、余暇活動、アルバム作り、買い物学習 など）

### ●学級活動 学級の実態に合わせた単元を設定する活動

- ・学級の生徒の実態や興味・関心に応じた活動（染め、紙漉き、手紙、マイバック、織り、クリスマス会、誕生会 など）

# 生活単元学習（高等部）

## 【基本的考え方】

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

生活単元学習では、広範囲に各教科等の目標や内容が扱われる。

生活単元学習の指導では、児童生徒の学習活動は、実際の生活上の目標や課題に沿って指導目標や指導内容を組織されることが大切である。

また、個々の児童生徒の自立と社会参加を視野に入れ、個別の指導計画に基づき、計画・実施することが大切である。 ※特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)より

## 【高等部の指導について】

生徒が興味・関心をもちながら、卒業後の社会生活にも目を向け、豊かな生活を送ることができるように、学校行事や身近な生活に関わる単元に取り組み、学校生活や社会生活に生かすことができる力を身に付けるようにする。

単元は、目標や内容により学部全体、学年、学級など適切な集団で取り組み、目標達成に向けた活動の中で、一人一人の生徒が力を発揮しながら、仲間と共に、一連の活動に見通しをもって取り組むことができるようにする。また、集団での活動を通して、生徒同士の関わりから社会性を養い、自立的な生活をするための基礎的な能力と態度を育てることを目指す。

## 【目標】

### 1 知識・技能

実際の経験を通して児童生徒の学校生活や社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができるようにする。

### 2 思考力・判断力・表現力等

実際の活動の中で考えるようにし、身に付けた知識・技能を活用できることに気付いたり、生かしたりすることができるようにする。

### 3 学びに向かう力、人間性等

社会に貢献することに喜びを感じながら、自分の力を発揮しようとする前向きな態度を育てる。

## 【学習グループ】

### 1 授業のねらい

3年間を通して、卒業後に自立しながら豊かな生活を送っていくための力を養うために、生活単元学習の授業づくりをしている。

### 2 学習グループ

- 高等部全体 ・観武祭
- 学年合同 ・宿泊学習（1学年） ・修学旅行（2学年） ・校外学習（各学年）  
・長期休業前のお疲れさま会（各学年）
- 学級 ・余暇活動、アルバム作り、調理活動、製作活動、活動に関わる買い物、将来の生活に関する学習など